

第8回FNCA大臣級会合、会合サマリー（仮訳）

2007年12月18日

1. 開会セッションでは、福田康夫首相のメッセージが紹介された後、岸田文雄内閣府特命担当大臣(科学技術政策)より開会挨拶が述べられた。続いて、参加各国代表の自己紹介があった。さらに、西川泰蔵内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)、原子力政策担当室次長より、前日に行われた上級行政官会合の結果が報告された。
2. FNCA活動の進捗報告に関するセッション1では、FNCA活動のハイライトと2007年度における特筆すべき成果及び今後の計画が、町末男FNCA日本コーディネーターより報告された。
3. 原子力エネルギーの平和利用への取組とFNCA活動に関するセッション2では、各国の代表より、原子力エネルギーに関わる政策全般、原子力発電の利用と関連する活動の状況について報告された。
4. 放射線利用を中心としたFNCA活動に関するセッション3では、テクネシウム99mジェネレータ等のFNCAプロジェクトの成果と今後の取組の方向性について、町末男氏より報告された。
5. セッション4の円卓会議では、西川泰蔵氏より、(1) 2008年度FNCA活動計画、(2) 共同コミュニケの積極的発信、(3) 人材養成パネルのフォローアップ、等について紹介され、出席者間で意見交換が行われた後、持続的発展に向けた原子力エネルギーの平和利用に関するFNCA共同コミュニケに署名し、第8回FNCA大臣級会合決議を発出することに合意した。
6. 閉会セッションでは、岸田文雄大臣より会合サマリーが報告され、参加各国 - バングラデシュ、中華人民共和国、インドネシア、日本、大韓民国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムの代表が共同コミュニケに署名した。続いて、エステラ・F・アラバストロフィリピン科学技術省長官より、第9回大臣級会合のフィリピン開催が紹介された後、岸田文雄大臣より閉会が宣言された。

以上